

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	50歳以上の late-life migraine 患者における予防薬使用実態と急性期薬使用・治療継続への影響：大学病院レセプト・カルテ情報を用いた後ろ向き観察研究 (B25-155)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部脳神経内科学 碓井 遼
本研究の概要・背景・目的	<p>片頭痛は若年～中年女性に多いとされる一方で、50歳以降に新規に片頭痛を呈する症例や、それ以前からの片頭痛が後年期以降も遷延する症例が存在します。加齢に伴う併存疾患や多剤併用の影響を受けやすく、薬物療法の選択・治療継続・副作用管理が若年層とは異なる可能性があります。近年、抗 CGRP 抗体薬が臨床導入され、従来の片頭痛予防薬とともに治療選択肢が拡大しましたが、後年期における片頭痛患者さんの予防薬の使用状況や治療継続、急性期治療薬の使用量の変化に関する本邦の報告は乏しいのが現状です。</p> <p>そこで本研究では、北里大学病院におけるレセプトデータおよび電子カルテ情報を用いて、50歳以上の片頭痛患者における予防薬の使用状況と急性期治療薬使用量の変化、治療継続との関連を明らかにします。</p>
調査データ 該当期間	2018年10月1日から2025年9月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2019年10月1日から2024年9月30日までの間に片頭痛の診断で当科外来に通院され、予防薬を新規に処方された50歳以上の方
研究の方法 (使用する試料等)	2018年10月1日から2025年9月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、脳神経内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができ</p>

ない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：脳神経内科学・助教

担当者：碓井 遼（ウスイ リョウ）

電話：042-778-8136